学校番号	３０２８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ちくま現代の国語」（筑摩書房）						
副教材等	ちくま評論入門　二訂版（筑摩書房）、重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版）、日本語チェック 2000 辞典新装版（啓隆社）等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業担当者から指示された予習を必ず行ってから、授業に臨みましょう。
・文章記述、意見発表などの表現活動や、課題に対して、話し合いを通して周囲と協働して考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、自分の考えを伝えるための「書く能力」を身につけてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	発話によって体験を共有する ［教材］ 現代評論文１	a：実社会における理解・表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[話／聞]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。また、考えが的確に伝わるよう、自分の立場を明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習課題にそって発表しようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	読み手を意識して文章を書く ［教材］ 現代評論文２	a：文・文章の効果的な組立て方や接続の仕方や、比喩・例示・言い換えなどの修辞について、理解して使っている。また、主張と論拠など情報と情報との関係、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について、理解を深めて使っている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。その上で、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。また、目的や意図に応じているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：進んで、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く根拠の示し方や説明の仕方を考え、課題にそって表現の仕方を工夫して文章を書こうとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	対比を意識して情報を正確に読み取る ［教材］ 現代評論文３	a：実社会における理解・表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、文・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。また、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について進んで理解を深め、文章の内容や構成、論理の展開などについて的確に捉え、要旨や要点を把握し、学習課題にそって文章を読み比べ、自分の考えを深め、批評しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	授業態度

	多様な視点から言葉への理解を深める ［教材］ 現代評論文４	a：文・文章の効果的な組立て方や接続の仕方や、比喩・例示・言い換えなどの修辞について、理解して使っている。また、主張と論拠など情報と情報との関係、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について、理解を深めて使っている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。その上で、考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文体・語句などの表現を工夫している。また、目的や意図に応じているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：理解や表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにし、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く説明の仕方を考えるとともに、学習課題にそって表現の仕方を工夫し、整理してまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	対話によって多様な価値観を学ぶ ［教材］ 現代評論文５	a：話し言葉の特徴や役割を踏まえ、正確さ・分かりやすさ・適切さ・敬意と親しさ、推論の仕方などに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話／聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。また、論理の展開を予想しながら聞き、内容・構成・表現を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。さらに、論点を共有し、話合いの目的・種類・状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c： 話し言葉の特徴や役割を理解し、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して、学習課題にそって活動に参加し、進んで自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
後期	具体―抽象を意識して情報を正確に読み取る ［教材］ 現代評論文６	a：実社会における理解・表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、文・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係、個別の情報と一般化された情報との関係、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。また、文章内の情報を関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、考えを深めている。 c：主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、学習課題にそって文章を読み比べ、相互理解を深めるために今何が必要か意見文を書き、進んで自分の考えを深めようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	授業態度

論拠を明示して文章を書く ［教材］ 現代評論文７	a:・主張と論拠など情報と情報との関係、推論の仕方、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方、引用の仕方や出典の示し方、必要性等について理解を深め使っている。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。その上で、読み手の理解が得られるよう、論理の展開・情報の分量・重要度などを考えて、文章の構成を工夫している。また、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。さらに、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、学習課題にそって文章をまとめ、進んで文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
対話によって思考を深める ［教材］ 現代評論文８	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。その上で、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。また、論理の展開を予想しながら聞き、内容・構成・表現を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。さらに、論点を共有し、話合いの目的・種類・状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 b[話／聞]:実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集・整理して、伝え合う内容を検討している。また、論理の展開を予想しながら聞き、内容・構成・表現を評価するとともに、聞き取った情報を整理して考えを広げたり深めたりしている。さらに、論点を共有し、話合いの目的・種類・状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、論点を共有して考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を積極的に工夫し、学習課題にそってマイクロディベートに参加し、考えを深めようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題

	論理展開を整理して文章を書く ［教材］ 現代評論文９	a:主張と論拠など情報と情報との関係、推論の仕方、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方、引用の仕方や出典の示し方、必要性等について理解を深め使っている。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。その上で、読み手の理解が得られるよう、論理の展開・情報の分量・重要度などを考えて、文章の構成を工夫している。また、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。さらに、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、学習課題にそって文章をまとめ、進んで文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	問題意識を持って、情報を正確に読み取る ［教材］ 現代評論文１０	a:実社会における理解・表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、文・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係、個別の情報と一般化された情報との関係、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。また、文章内の情報を関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、考えを深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容・構成・論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。また、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、進んで内容や書き手の意図を解釈し、学習課題にそって図やグラフなどを効果的に用いて発表し、考えを深めようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	授業態度

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間